

医療法人名南会 第47回定時総会特集号

第47回 定時社員総会のご案内

法人定款第22条、第25条及び第27条の規定による「医療法人名南会 第47回定時社員総会」を下記のように開催いたしますのでご通知申し上げます。 2012年4月 医療法人名南会 理事長 三宅 隆史

総会日程及び会場

●日時: 2012年 **5月20日(日)**

開場・受付開始 午後1時30分
総会議事 午後2時00分～4時00分
(休憩)
総会参加者懇親会 (同会場にて) 午後4時30分～6時00分

※今総会は、昨年同様総会終了後、同会場にて総会参加の皆様の懇親会を企画していますので、総会に引き続いて、ご参加ください。

懇親会では、お食事・お飲み物をご用意させていただきます。お車での越しはご遠慮いただき、公共交通機関をご利用ください。

●会場: **名古屋港湾会館・第1会議室**

名古屋市港区港町1-11 TEL:052-659-1700
地下鉄「名古屋港」駅下車(1番出入口) 徒歩2分



シートレイン
ランド



めいなん

第444号(部内資料)
(毎月1回、1日発行)

発行
医療法人 名南会
名古屋市南区豊田
五丁目15番18号
発行責任者
西本 義弘
☎052-692-2388

年間購読料600円
一部 50円

2011年度諸活動と2012年度活動方針案

2011年度の 特徴的な活動

名南病院



▲無料低額診療利用について、相談員による相談の様子

①無料低額診療開始

民医連のかかげる無差別・平等の医療の実践として10月より無料低額診療が始まり、現在まで16名が制度を利用しました。制度を利用した皆さんからは感謝の声が寄せられています。経済的な理由で受診ができない方を地域からなくす取組みを一層すすめます。



▲目標達成に喜ぶ、名南病院乳がん検診担当者会議のスタッフ(一番左は、鈴木るり子医師)

②乳がん検診は4年連続 1000件の目標を達成

乳がん検診は4年連続1000件の目標を達成し、特定健診も過去最高の実施となり健診活動が前進しました。がん検診を通じて乳がん7件(内手術5件)、大腸がん6件(内手術5件)、甲状腺がん1件が発見されました。また腹腔鏡による消化器がん手術がすすんでいます。

③念願の常勤整形外科医赴任

8月より長谷川医師が赴任し念願の常勤整形外科医が誕生しました。リウマチや骨粗鬆症治療をはじめ、超音波による



▲外来で診察する、長谷川医師(整形外科部長)

骨折治療や関節鏡など特色ある医療活動をおこなっています。また大腿骨頸部骨折などの手術も徐々に拡大しています。また、早川モモ医師が小児科3年目研修を耳原総合病院(大阪)でおこなっています。



▲毎月開催している糖尿病療養指導研究会での症例検討会

④糖尿病療養指導研究会の活動

糖尿病医療は、糖尿病専門研修より帰任した中島医師に伊藤医師が加わり医師体制が強化されました。フットケア外来、初心者教室、「糖尿病カンパセーションマップ」の活用、世界糖尿病デーなど、患者自らの自発的な療養を応援する立場で療養指導研究会の活動が展開されました。

⑤入院稼働病床数を増やし、 経営的前進

入院は6月より4病床稼働が増え132床の稼働となり、内亜急性期病床が26床となりました。また法人内外の医療機関との連携強化、リハビリテーション活動の強化がすすみ入院・外来・健診ともに昨年より収益増となりました。全体で前年度比103%の収益増となり、医薬品費等の費用管理もすすみ経営改善が前進しています。

名南 ふれあい病院

2011年度は、東日本大震災の被災地支援の中ではじまりました。名南ふれあい病院でも看護・介護・リハ職員が医療支援に現地に入りました。また、病院機能評価Ver.6.0受審を2012年7月に控え、病院あげて業務改善運動にとりくむ一年になりました。

①回復期リハビリテーション病棟

脳神経外科医による学習会の継続、365日のリハビリ提供を継続強化、多職種協同でチーム医療を推進し、在宅復帰率を高めました。

②介護療養型医療施設

重介護を要する患者さまが増え、介護量が増えています。生活の質の向上を目指し四季の行事などを充実させました。

③外来

特定健診・友の会健診のすすめや待合室で資金募集や署名運動にも取り組みました。

④組織活動 その他

地域推進委員会を毎月定例化し、毎月の地域訪

①各院所の 2011年度の 活動のふりかえり



▲ふれあいフェスタ
…昨年は駐車場にテントを張りました

問行動を実施、ふれあいフェスタなども成功させてきました。外来や病棟での資金募集の訴えに努力し、事業所としての資金募集年間目標を達成しました。職員自身の民医連職員としての成長、共同組織との共同にとりくむことを目標に、「いつでも元気」の職員購読を強く大幅に増加しました。地域ボランティアの協力で敷地内の花壇が整備されました。

2頁につづく

めいなん新聞は通常一世帯一部でお届けさせていただいていますが、今回は「総会特集号」のため社員、名南会協同基金協力者のおひとりおひとり一部ずつお届けさせていただきます。

各院所の2011年度の活動のふりかえり・1頁からのつづき

名南診療所



第9回名南診療所健康まつり▶

名南診療所では、毎日の外来診療の他に、毎月120件を超えるお宅に伺って訪問診療・往診を行っています。お体が不自由で通院が困難な方、認知症の方、痛みのコントロールが必要な方、褥瘡の治療が必要な方、在宅にもさまざまな方がいらっしゃいます。「その方らしくあるために」「ご家族が介護を続けられるように」という視点で、法人内外の事業所とは定期的な連携会議を持つだけでなく、日々連絡をとり、連携を強化しています。

①昨年度は名南診健康まつりを9月に行いました。名南診の職員と組織課職員、地域の方とで実行委員会を立ち上げ、協力して開催することができました。当日はたくさんの方にお越しいただき盛況でした。

②通所リハビリやデイサービス庵では、毎日利用者様やスタッフの笑い声や歌声、レクリエーションの際には元気なかけ声や歓声も聞かれ、活気にあふれています。庵は4月よりサービス提供時間を約1時間延長します。ご家族の介護負担を軽減し、ご本人には楽しく生き生きと過ごす時間を持てただけのように、今まで以上に努力してまいります。

③現在、名南診療所と庵のリーフレットを作成しています。気軽に相談してもらえ、ちょっと立ち寄ってもらえ、みんなで笑顔を交わせる、そんな診療所・庵でありたいという職員の思いがあふれたリーフになりそうです。

名南介護老人保健施設 かたらいの里



3年前より年明け冬の企画として「魚（ぶり・まぐろ）の解体ショー」を行っています。解体後は、利用者さんも楽しく試食する企画です。▶

この一年、かたらいの里は療養の場として高齢者の特性に配慮し、『適切な医療、及び生活の質（QOL）を大切にケア』を心がけ、サービスの提供を行ってきました。ご本人やご家族の思いを受け止め、チームとしての関わりを大切にしてきた結果、信頼関係を築く事ができ、『最期のときをかたらいの里で見て欲しい』という希望も高まった一年となりました。近年は老人保健施設での看取りが期待されており、かたらいの里でもご利用者、ご家族に『ここで最期を迎えられて良かった』と思って頂けるよう職員一同力をつくしてきました。特に、食事については最期まで口から摂取することにこだわり、その人らしく最期の日を迎えることが出来るよう、日々の生活のお手伝いをしてまいりました。

また、地域の介護支援を担うべく、『1日でも長く、住み慣れたお家で生活したい』という思いには、通所リハビリやショートステイなどの在宅サービスも提供し、地域の期待に応えてきた一年でした。

中川診療所



昨年11月28日リニューアルオープン、友の会役員と職員で診療所玄関前で▶

●11月28日に新築移転オープン～「新たな一歩」

中川診療所は昨年11月28日に新築移転オープンをしました。移転するにあたり、友の会役員・世話人の方をはじめ患者様に励ましの温かいお言葉やご支援をいただきましたことを心よりお礼申し上げます。

移転後の経過は順調で外来患者数の増加と、何よりもデイケア利用者の増加が最大の新築移転効果として現れています。この度、実現しました浴室完備は地域のみなさまからの要望も多かったことから大変喜ばれています。また、リハビリの充実にも力を注ぎ、リハビリ機器の導入と理学療法士2名が個々の目標に合わせた計画を立てて実践しています。生まれ変わったデイケアは明るく職員も含めいきいきとした良い表情をしています。

玄関に入ってすぐの所に友の会ルームを設けました。ここは班会の他、毎週開催の「おしゃべり何でも相談」にも利用しています。友の会役員と職員が協同して外来患者様へ基金協力や署名活動・介護についてなど声掛けを行っています。気軽にお茶を飲みながら交流できることも魅力です。こちらも徐々に定着しつつあり、和やかな雰囲気ができてきました。介護相談件数も増加し、地道な活動の成果が見られるようになりました。

新たな一歩を踏み出しましたが、これからも医療・介護ともに地域の中でなくてはならない・頼りにされる診療所、人が集う診療所であり続けたいと思います。

名南在宅総合センター きずな

①利用者様、ご家族の意向を尊重し、在宅での生活が続けられるよう支援活動をおこないました。

②日常の在宅生活支援や退院・退所支援のなかで、法人内外の医療機関、施設、在宅サービス事業所、いきいき支援センター等との連携に努めました。特に訪問看護では、

法人外の医療機関から退院される方の相談が多くありました。また、ひとりの利用者様について在宅総合センターの3事業所が関わり、在宅生活を支援した方もありました。

③3事業所（訪問看護ステーション、ヘルパーステーション、居宅介護支援事業所）ともに、情報の共有、よりよいサービスの提供ができるよう、定期的な会議、学習会の実施、研修会等への参加をすすめました。

▼友の会ボランティアさんによる、名南ふれあい病院花壇づくり
半年の手入れで、こんなにきれいに花が咲きました（12年3月撮影）



② わたしたちは、 「あらゆる活動を共同組織」 としてもすすめます。

「地域の健康づくり」の運動は事業所と共同組織が一体となって
すすめる最も重要なとりくみ。大腸がん検診・乳がん検診・特定
健診(友の会健診)を重点に、地域に大きくひろがりました。

●友の会の各地域支部、各事業所と合同の「名南会健診委員会」を中心にしたとりくみは4年目を迎え、班会学習、外来行動や地域訪問行動など、地域にひろげる検診運動として今年度も大きく前進しました。昨年度は、健診の大切さをテーマにした紙芝居を作成し、班会で学習し好評でした。大腸がん検診は過去最高の実施件数となり、乳がん検診も4年連続で目標の1,000件を超過しました。

友の会班会で、紙芝居を使い「みんなで受け、まわりにひろげよう」と楽しく学習



2011年度、「名南会協同基金募集運動」に
多くの社員・友の会員の方にご協力をいただき、
9,200万円の資金が集まりました。

●「名南会協同基金は、差額ベッドのない病院・よりよい病院、施設を支える大切な力」と職員、共同組織の共同で、外来や病棟での訴え・地域訪問行動などにとりくみました。「楽しく資金参加・こつこつ貯める健康貯金」と積立通帳づくりは大きくひろがりました。名南病院地域、ふれあい地域での積立通帳協力者は100件を超え、すでに達成していた名南診療地域とあわせて全地域で100件を超えました。また、今期移転新築した中川診療所は資金募集の大きな運動を展開し、積立通帳は250件となりました。結果1年間で257名の協力者が増え、現在938名の方が「積立通帳」にご協力いただいています。



中川診療所地域 3月年度末までに目標の250件「名南会協同基金積立通帳」達成

友の会班会は、地域の楽しい交流、
仲間づくり、友の会の活動拠点づくり。
新しい班が4つ誕生しました。

●各地域で班づくりに目標をもってとりくみました。今期、新たに4つの班が誕生しました(名南班、南木場班、新三条班、歌謡舞踊教室班)。そのうち、名南班は、地域懇談会の開催など、一年以上かけたとりくみで班づくりを行い、あとの3班は「班会結成を難しく考えず、気軽に集まろう」との気持ちで班結成に至りました。



南木場班



新三条班

友の会員の要求を出発点に、
友の会らしい新たな活動が
広がりました。

●呼続地域での「まちなみウォッチング」は、友の会で初めての試みで、その後、道德地域と堀川周辺で「防災まちなみウォッチング」も行われました。また、南陽通6丁目バス停へのベンチ設置も実現しました。



友の会の要望で新設された南陽通6丁目バス停ベンチ

●仲間づくりのとりくみとして、「おしゃべりわいわいクッキング」「編み物同好会」「折り紙講習」が始まりました。今後、「子育てサロン」など計画しています。



●あらたなボランティア活動が多彩に広がりました。今までの通所リハビリ・デイサービス、名南診療コーヒースalonなどに加え、名南病院のお掃除や花壇づくり(名南病院・ふれあい病院)、名南病院外来でのお茶のサービス、名南診療看板つけかえなどが始まりました。



ふれあい病院花壇 友の会員さん、職員で協力してふれあい病院駐車場内に花壇づくり

名南病院お掃除隊 友の会名南病院地域支部と名南病院職員によるお掃除ボランティア(昨年10月)

平和、くらしを守るとりくみ
～みんなで学んでみんなで行動～

●私たちは何よりも「いのち」を大切に、「貧困化」など困難が広がる地域に寄り添い、誰もが医療を受ける権利(生存権・受療権)を守ります。くらしと景気を反映して国民健康保険をめぐる深刻な事態が進行しています。「(名古屋市)国保改善署名」「社会保障と税の一体改革反対署名」を中心に取り組みをすすめました。また、「TPP反対」「脱原発」をめざし、学習会や署名活動にとりくみました。

●平和憲法を守る取り組みは、いのちを守る活動をしている私たちの最も重要な取り組みです。平和、憲法9条を守る運動では、6月平和行進と8月原水禁世界大会、3月ビキニデーなどに多くの青年職員を派遣しました。また、10・20国民集会には、全国から5,500人、名南会から14名参加しました。



6月平和行進に参加した名南会職員友の会員



2011年原水禁世界大会(長崎)に青年職員4名で参加しました



いのちまもる10・20国民集会パレード(東京)

救急情報BOX いのちと笑顔を守りたい。
高齢者の見守り活動の準備すすむ。

●高齢者、独居世帯の見守り活動、いざという時に役立ち命を守る「救急情報BOX」の準備ができました。今年度、地域で本格的な普及にとりくみます。



実際に普及される 救急情報BOX

楽しい友の会全体企画、地域での行事などでは、
職員、共同組織相互の親睦が深められました。また、
地域との結びつきが強まり、地域の仲間づくりの
輪がひろがり、まちづくりにも生かされました。
1年間で375名の友の会員が増えました。



名南健康友の会秋の行楽は、「飯田・元善光寺と水晶山温泉」



医療法人名南会 2012年度方針(案)

全日本民医連第40回総会が、民医連新綱領策定後最初の総会、「3・11」から1年後に開催される総会として開催されました。総会では、「住民本位の震災復興と新しい福祉国家への展望」「平和と権利としての社会保障の実現」「原発ゼロなどの運動の『架け橋』」「健康権の実現をめざし、保健・医療・介護の総合的実践と医師をはじめとする担い手づくり」をキーワードに運動方針が確認されました。私たちは、全日本民医連第40回総会運動方針にもとづいて、地域で実践を強めていきます。

東日本大震災では1万6000人近い方が亡くなり、3000人以上が行方不明です。福島原発事故によって10数万人が故郷を追われ、きびしい生活を余儀なくされています。大震災と原発事故を経験した国民に改めて突きつけられているのは、これまでの延長である「人間を大事にしない国」を続けるのか、それとも「原発のない、いのちや人間を何よりも大切にする国づくり」をすすめるのか、という問題です。

全国で孤立死など痛ましい事件が相次いでいます。生活保護受給者は207万人超、1000万世帯が生活保護基準以下の生活です。構造改革で労働者の収入が減る一方、大企業の内部留保は過去最高の266兆円です。リストラ、非正規化、法人税減税などが大きく影響しています。せめてこの1割を社会保障のために使えば、消費税増税も社会保障の大改悪も必要ありません。

「地域包括ケア」が重視される時代に、「自己責任」や「助け合い」を基調とした地域づくりではなく、公的責任を明確にし、地域住民が安心して住みつけられる町にしなければなりません。名古屋市は、城西病院の売却に続いて緑市民病院の指定管理者制度導入、守山市民病院の売却を計画しています。一方で、昨年5月にオープンした西部医療センターの特別個室は1日 39900 円です。後期高齢者医療保険料を値上げ、介護保険料は全国1位の大幅値上げになります。富裕層の支援より、市民の生活支援の充実が必要です。

医療法人名南会は、地域の困難に寄り添い、健康友の会の強化に努め、専門職の確保・育成で事業を前進させてきました。医療経営をめぐり困難な状況は続いています。全日本民医連に結集し全国の経験に学びつつ、共同の取り組みを強めていきます。



2012年度の重点課題方針

① 地域で民医連綱領を掲げ、安心して住みつけられるまちづくりへ

「無差別・平等の医療と福祉の実現をめざす」民医連綱領を高く掲げ、健康友の会と共に、安心して住みつけられるまちづくりへ役割を果たしていきます。無料低額診療事業も活用し、最も困難な人びとに寄りそう医療・介護活動をすすめます。「社会保障と税の一体改革」による消費税増税を阻止し、権利としての社会保障の実現、平和と環境を守るため、地域の諸団体との共同のたたかいをすすめます。

③ 次代につなげる第6次長期計画の具体化をすすめる

11年度で第5次中期計画が終了し、12年度から5年間の第6次長期計画がスタートします。名南会を次代につなげ、「社会保障と税の一体改革」の描く「医療・介護グランドデザイン」に抗し、安心して住みつけられるまちづくりに役割をはたす計画となります。名南病院のリニューアルなど財務経営計画にもとづいた具体化をすすめ、長期計画スタートの年度にふさわしい前進を実現していきます。

⑤ あらゆる活動を健康友の会とともにすすめる

医療法人名南会は、健康友の会との共同の前進なくして、医療・介護活動も経営活動も前進させることはできません。地域で、連帯し助け合う組織として、平和・憲法を守りまちづくりをすすめる医療・福祉住民運動として、事業所を守り発展させる共同組織として、健康友の会の拡大・強化に取り組みます。健康友の会とともに、まちづくり運動、健診など健康づくり運動、地域資金募集運動に取り組みます。

② 地域の医療・介護ネットワークの中で積極的な役割を担う

名南会の各事業所が地域でなくてはならない役割を担うために、地域の医療・介護ネットワークの中に自事業所を位置づけ連携を強め、求められる機能を高めていきます。とりわけ、人権としての「健康権」を保障する健康づくり、ガン医療も含めた慢性疾患医療、地域包括ケアを担う在宅医療支援を重視します。法人内連携の整備、医療の質の評価・公表等推進事業、病院機能評価受審に取り組みます。

④ 「地域と共に歩む人間性豊かな専門職」の育成をすすめる

愛知民医連に結集し、医療活動と一体となった医師研修プログラムを整備していきます。早川モモ医師の小児科研修、家田医師のリハビリテーション科研修、伊藤医師の糖尿病研修を成功させていきます。看護師の育成について、育てる奨学生活動、新人看護職員研修、リーダー研修から認定看護師まで整備をすすめます。民医連綱領や歴史を学び、青年職員の交流と育成、系統的な管理者教育・研修をすすめます。

⑥ 全役職員による経営改善をはかり、安定した経営をめざす

事業所管理会議での集団的な検討をもとに、職場ごとの課題・目標を設定し、毎月の予算達成をめざします。全職員での経営状況の共有と職責者が予算にこだわった職場管理が決定的です。資金管理が重要な課題となっています。事業キャッシュフローの増大と地域資金結集が欠かせません。常勤理事会の役割を高め、収益管理と費用管理まで本部事務局と事業所が連携した経営管理を強めていきます。